

獣医保健看護学科

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー） （令和 10 年 4 月 1 日から施行）

獣医保健看護学科における目的の達成を目指し、人と動物の健康と福祉の向上を図り、人と動物の共生社会の維持・発展に貢献できる愛玩動物看護師をはじめとした動物医療・動物福祉の専門人材を輩出するため、所定の教育課程を履修し、卒業に必要な単位を修得した者に対して、学士（獣医保健看護学）の学位を授与する。

1. 知識・理解

獣医保健看護学における基礎的・専門的な知識を体系的に修得し、動物の健康維持、疾病予防、適正飼養及び福祉の向上のために活用するとともに、多岐にわたる分野に応用することができる。

2. 専門的・汎用的技能

科学や技術が社会や生命倫理に及ぼす影響を理解し、高い倫理観を備え、人と動物の健康や福祉、共生に向けた課題を科学的な根拠に基づいて正確に捉えることができる。また、獣医保健看護学を中心とする専門知識及び技術に加え、ICT 技能、プレゼンテーション力及びコミュニケーション力を生かし、課題の解決に向け、論理的に考え、実践することができる。

3. 態度・志向性

幅広い視野と責任感を持ち、チーム獣医療や動物福祉を支える一員としての社会的使命を自覚し、自らの目標を明確に定め、生涯にわたり主体的かつ自律的に学び続けることができる。また、多様性及び包摂性の概念を理解し、高い倫理観、協調性及び柔軟性をもって、他者と協働しながら動物医療・動物福祉の向上に取り組むことができる。

4. 総合的な学修経験と創造的思考力

獣医保健看護学科の教育課程を通じて得た知識と技術を統合し、課題を自ら発見して科学的根拠に基づき論理的かつ創造的に解決できる。また、予測困難で多様な社会においても柔軟に思考し、動物医療や動物福祉の現場で新たな価値を生み出すことで、獣医保健看護学の維持・発展に寄与することができる。